





武家藏制錄 卷四十七

目錄

新、河原氏 付上使、改事

一 延宝四年日克河原氏

石川氏殿

一人數之元

一 諸道兵元

一 没落之者元

一 江戸人元

一 同六年日克河原氏

阿部對馬守

一人數之元

一 諸道兵元

一 河原氏佛殿献元

1883
01



一 同不沙波人元并改僧名元

一 天和二年日光寺名氏 石川之殿

一人數元

一 法道具元

一 江戸源寺書札

一 寺名 河佛殿就元

一 元江戶日光寺了結元

一 元和元年留 上使 安藤對了也

一人數元

一 法道具元

一 同二年被別田中上使 土屋相換也



昭和十四年
一月十九日
購求

一 沙番中分司元

一 法道具元

一 改僧名元

一 己年 大猷院殿十七回寺忌日光寺法事二佛

寺前勤番元

一人數元

一 法道具元

一 實文二年日光 河成寺市江番元

一人數元

一 法道具元

一 小庵元

一 申年上中 河成寺 志水口江番元

一初至 市佛殿 寺前 過 園 寺

一上増上寺公家元系流時过此の所

A vertical strip of aged, yellowed paper, likely a flyleaf or endpaper, showing a central fold and some minor staining or foxing. The paper has a textured, slightly mottled appearance.

武王受小報

武家嚴訓 卷四

所入海民

延宣四年日光

人救之免

一傳
六十二人內

一
二千人

一足怪
四十六人

一系了 三凡

一 葛龜馬 六 凡

石泉先生

一、名物等。

一
活炮

對

武家嚴制錄 卷四十七

朗々清民 付上使々々

一巡室四年日光
清名代
石川王殿臨

人救之免

一侍
六十二人内
男子六
女子六

一
港

二十人

一
是
恆

四
十
六
人

一
系
了
三
凡

一 葛笔馬 云凡

石具之笑

一居物等。 甲子。 弓。 二張。

一 治地
對法二本
什字字一本

A vertical strip of aged, yellowed paper, likely a page from an old book. The paper shows signs of wear, including a small tear near the bottom and faint, illegible markings or stains. The strip is positioned against a dark background.

一長刀 一振

五卷

虎堂

按名不居

後清古香物

一清武校

電光院

河佛殿香燈七人百是

一同

德學院

內有六臥是

一同

大樂院

樂人欠 同前

一同

同學院

乙女欠 同前

一同

日增院

社部 先生 右森院

一同

浪子代

梶左衛門 小中源更 金森院

一同

多本

加藤神 無子系

一時報二

山屋

右月

和日光門 清山左刀 櫻山氏 堂令十五也

銀斗月半 獨白抄系

江戸源之書札

一筆啓上仕限

公方御信市勇健三 敬請方忌日出度事

蛇名七十七日市宗礼 系能所化法抄不金

子尾能所深謝之 係年事終又抄家

十二日市光系忌仕 係書子動中 不暇可

中上水無居長 係燈云

四月十七日

石川殿

稱系英流書

久世大和書

上原但馬書

今中

酒井雅樂師 酒是八拾廿七

系今中

行以沙書概在為言本中書中書

一 延寧六年日光 沖淡

阿部對子

人教之

一 楊馬

交人 侍中入 檢人 中將 出 侍士

一 醫師

一人 巾 函 人

一 足輕中

言中人 系正 小 侍 中 正

足見之

一幕

口乞 月一乞 八 幕 刀 中 二

一 持扇

二張 弓 立 一通

一 玉扣

一 荷

持 池 刀 中 長 刀 中

一 早慶

一

案 子 一 正

就上之

一 東照宮

御方 刀 中 代 張 之 叔

一 御佛殿

張 大 叔

一 慈眼石

張 叔

一 御門

御方 刀 中 代 叔 叔

江 江 人 系 刀 中 代 叔 叔

一 枝機

山 湯 江 中 叔

一 丹 系 內 一 油 利

梳 左 叔 叔

一 同

梳 左 叔 叔

一 拾

二

山 口 中 叔

一 部正 監正 監院 監院

一 部正 監正 監院 監院

一 同 監正 監院 監院

一 同 監正 監院 監院

一 同 監正 監院 監院

一 同 監正 監院 監院

一 同 監正 監院 監院

一 天和二年正月廿二日光緒

人教之元

一 侍 主人 步正士 二十人

一 小波人坊 十二人

道員之元

一 弓 三肩 監正 監院

一 甲名 一肩 監正 監院

一 甲名 一肩 監正 監院

一 甲名 一肩 監正 監院

江戶江戶

一 甲名 一肩

五上... 江戶江戶... 監正 監院

上卷中、事如序、因、
冲、
勤、
正、

正有日

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

一 御

御

一 御

御

一 御

御

一 御

御

一 御

御

一 御

御

一 御

御

一 御

御

一 御

御

一 御

御

一 御

御

一 御

御

一 月 百 是 御 殿 別 當 人 寺 主 學 二 法 以 信 代
 一 日 一 主 任 寺 人 或 百 是 日 不 別 當 寺 主
 一 銀 三 枚 慈 眼 大 師 兼 一 垂 樞 左 金 佛
 一 兼 一 呂 久 為 德 在 金 兼 百 是 毫 光 院 寺 人
 海 康 干 瓢 一 呂
 一 三 百 是 山 伏 三 人 法 衣 祈 願 宿
 一 從 師 日 是 寺 人 易 經 乃 經 卷

一 天 和 元 年 浪 田 上 役 安 友 對 寺 寺
 人 經 之 亮
 一 騎 馬 五 十 八 騎 兼 藏 寺 人 同 兼 原 寺 人
 一 先 重 寺 十 三 人 兼 劍 小 姓 組 十 人
 一 大 小 性 二 十 人 候 番 寺 人
 一 刀 番 寺 人 右 兼 寺 人
 一 步 行 隊 寺 人 日 同 寺 人
 一 步 行 者 二 十 人 馬 兼 寺 人
 右 名 側 旦 信 段 寺 人 兼 寺 人 二 代 寺 人 信 勤
 世 外 大 工 船 泊 寺 人 供 養
 一 旗 通 具 寺 人 兼 寺 人
 一 組 二 十 張

一 持弓 二組二十張 銃炮 百中挺 七厘
 一 持筒 二組二十張 長柄 五十本
 一 持長柄 二十本

一 天和二年後取甲上役 七厘

人好く免

一 騎馬 五十人 系是供 二十二人 何も港に持
 一 中小槍 二十人 歩約士 二十人

道号く免

一 銃竿 五十本 先子銃炮 八十挺 持弓 二十挺
 一 持筒 五十挺 先子弓 二十張 持弓 十張
 一 例弓 五十張 長柄 七十本 持長柄 五十本

一 具足 二荷

一 因形

石川善操守

人好く免

一 騎馬 二十人 系是供 二十二人 何も港に持
 一 系掛供 二十人

人好く免

一 弓 二十張 銃炮 五十挺 持筒 二十挺
 一 大筒 二張 長柄 五十本 系是供 二十二人
 一 系中弓 十張
 一 同銃炮 十七挺

一 同年三田在番

御軍海軍

秋田信清守

人較免

一 騎馬

六十二人

早中定級
十八人

一 系掛給人十八人

一 中小性

二十人

一 歩行士 早六人

一人救取合ふ九五十八人

及是免

一 銃

十本

早中定級
二本八人

一 弓

一 銃炮

百本

早中定級
十挺

一 持筒

廿挺

一 銃

百本

早中定級
十本

廿本

右外家を用いし銃炮銃有之

武家嚴訓録 卷四十八

目錄

雜多部

一 御前人有時評定不武法忌

一 御前人の内膳

一 法衣の法衣身法事包給免

一 法衣人給事

一 法衣人有時伺事

一 中川翁庵切後

倍信宗相如毫免付親人哲同案

天和二年

武家老制録 卷四十八

雜之部

一 御部人省之時評定不法式等

一 御部人省之時々々目月番々御部内意省之事

一 省々御部人省々御部内意省之事

一 省々御部人省々御部内意省之事

一 省々御部人省々御部内意省之事

一 省々御部人省々御部内意省之事

一 省々御部人省々御部内意省之事

一 省々御部人省々御部内意省之事

一 省々御部人省々御部内意省之事

一 省々御部人省々御部内意省之事

一 省々御部人省々御部内意省之事

一 昔先皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一 清和天皇の御事

一歩居士
乙亥
相藏

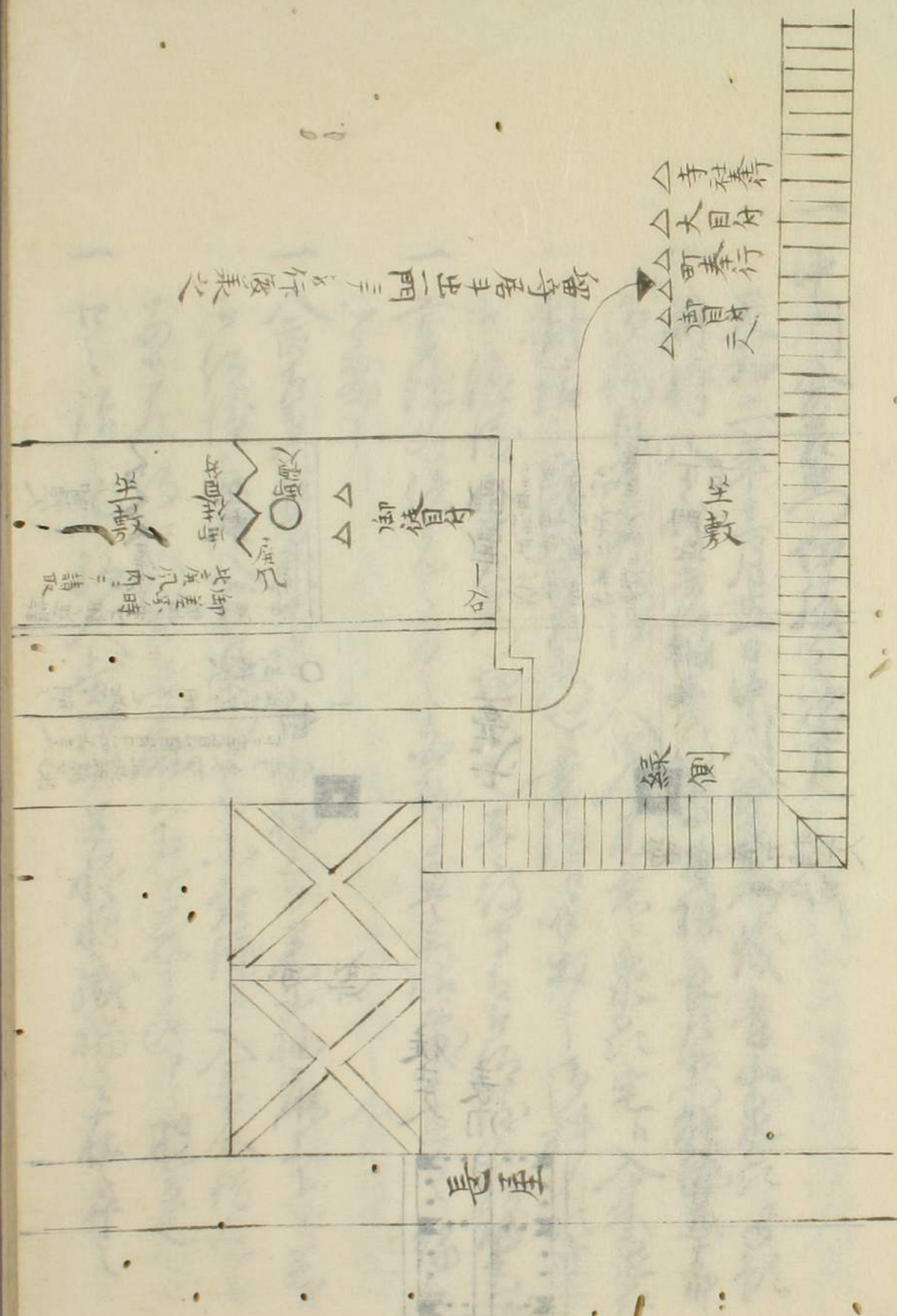
一
是
二
十
二

對の羽折 折々 亦々 但者 時々 一々 多々

一刀箱 常物の後

一 陸 路 高 の 知 事 二 本

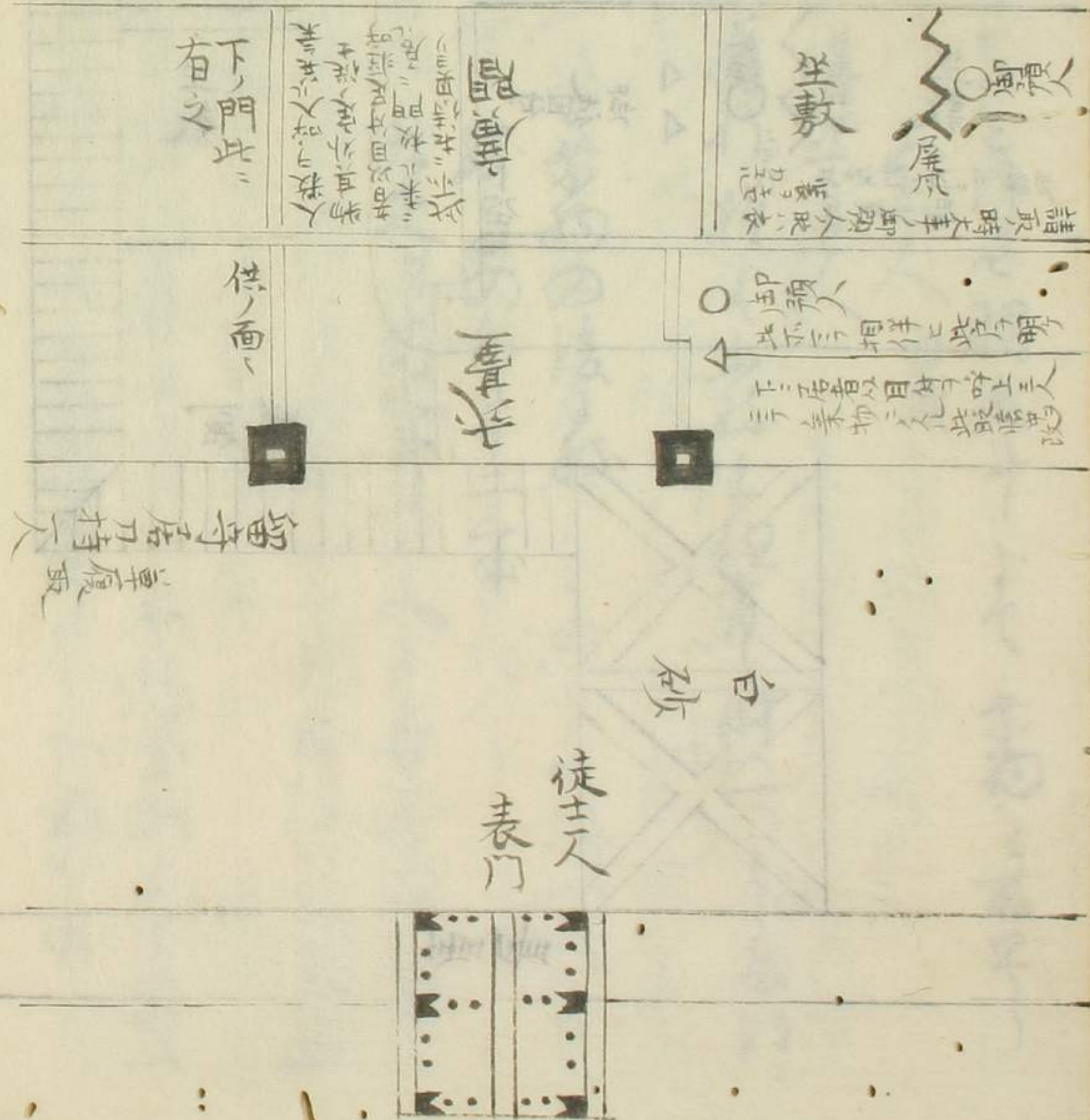
一 案 五 九 上 十 上 斗



一 中川八重子 切腹之決意

天和二年十月廿日中川高直より飯青山泉石に就
同時八ッ時表坂より夜半目根長尾の御璽を土所
沙院月内式人沙山人一人元意と泉石宅へ入来泉石
對話之後高直より書院へ呼出沙科の事
其後高直より切腹之志傳ふるは沙院の後堀迄
書院の傍より入り五羽より三羽まであり編み
と云ふ

一
高直より書院下り白少袖より黒少袖麻之上と云
は信長が所へ高直よりいそ小針浦に入至ぬ所へ
高直より信長が所へ麻之上と云ふなり服之
は信長より高直より歩行者は信長より在り



一 合意の事留る如く是の事とて上同なり
四月廿九日迄を以て一箇中前長と事たる所不
一 此の事なるも列坐して後自片元の縁側にて
一 縁に居る少人の元へ物より伺て一礼有り
之方に小振るなどの中中様上りて一箇中太
一方三人中より主として時分を暇より
とあり

一件の時足利少将ありて一箇中太のやうと物
足利のより

一 死骸のより四月廿九日何れとて一箇中太
一 是の事より一箇中太より一箇中太
吉祥より送るを主として吉祥より一箇中太

一 金子の事吉祥より送るを主として一箇中太
刀振る事吉祥より一箇中太

一倍長事如く是なり

一 行幸の事留る如く是の事とて上同なり
免沛之

一 大に事より一箇中太より一箇中太
一 是の事より一箇中太より一箇中太
一 是の事より一箇中太より一箇中太

一 是の事より一箇中太より一箇中太

一 是の事より一箇中太より一箇中太

一 是の事より一箇中太より一箇中太

一 是の事より一箇中太より一箇中太

何十何葉花何病子馬之動能計
此月何葉花何病子馬之動能計

年号月

定不

但拂原式ヲ藤原公月書ハ清定中を領する由

一古くは向きの四月分金、金子は尋くくは
は徳くは堀田氏金と度清用、所るは古葉を
は生くは伴くは四月分金、金子は尋くくは
四月分金、金子は尋くくは古葉を領する由
は古葉を領する由

一四月分金、金子は尋くくは古葉を領する由

一古くは向きの四月分金、金子は尋くくは
は徳くは堀田氏金と度清用、所るは古葉を
は生くは伴くは四月分金、金子は尋くくは
四月分金、金子は尋くくは古葉を領する由
は古葉を領する由

年号月

定不
何十何葉花何病子馬之動能計

一額人整同葉

能信文

私何十何葉花何病子馬之動能計
私何十何葉花何病子馬之動能計

一 法衣の御用書

一 御用書に次ぎ

一 禁裏の御書

一 院中の御書

一 高門の親王の御書 高門親王の御書 高門親王の御書 高門親王の御書

一 攝政方の御書 攝政方の御書 攝政方の御書 攝政方の御書

一 法皇の御書 法皇の御書 法皇の御書 法皇の御書

一 同大寺納の御書

一 同大寺納の御書

一 同大寺納の御書

一 同大寺納の御書

一 武家の御書に次ぎ

一 甲府總督の御書

一 御三家の御書 御三家の御書 御三家の御書 御三家の御書

一 宰相の御書

一 侍從の御書

一 四品上の御書

一 五位上の御書

一 五位下の御書

一 五位下の御書

一 寺社の御書

一 知恩院の御書

一 増上寺の御書

一 淨土宗足利寺大守業衣之傳 年書 再東林

十八ヶ寺 年書

一 天台宗云々院家 年書 月 院家

一 台家云々院家 年書

一 五藏山石位

一 高北山寺 年書 月 寺

一 同捨教 年書 月 捨教 寺 碩學

一 祥教寺 年書 月 系部 院家 寺

一 曹洞宗 年書 月 寺 寺

一 日蓮宗 年書 月 寺 寺

一 時宗 年書 月 寺 寺

一 神宗 年書 月 寺

一 公川家 年書

一 古御門家 年書

一 吉田家 年書 月 寺 寺

一 雲只大社 年書 月 寺 寺

武家嚴訓錄 卷四十九

公祐并清内書の事

公祐

公祐々々山等大寺に任持殿と補任
時 將軍家分是とて下書あり 科紙
公祐々々々々書あり

公祐

公祐

公祐

<p>山内一天竜寺住持殿事</p>	<p>任先倚下と批賜之状也</p>	<p>件</p>	<p>年月日 大正</p>	<p>元章 和尚</p>
-------------------	-------------------	----------	---------------	--------------

宸筆 勅書 御清

亦ふ代延生よほき 宸筆の勅書に載
 有り希有のころつゝあつて
 天つのお恩賜を 朝家安泰のつめ
 是のころかゝる こととて後
 後々ぬ 行ふにふ代百世までも
 うきうきけり 世のいさよ
 りとけり

家光 沙判

東御院 沙判

右へ 家徳公の御誕生のとき、辰筆の初ま
しり裁別后まの御方すての御持るる所ま
の御方と 家光公の御妹姫之

禁裏に 御書

為年取の御後と云ふは仍の口一御書と云ふ
蠟燭の挺と云ふは世有るに 殿中の御書

正月九

書忠

廣揚大納言
御書中納言

院中に 御書

為年取の御後と云ふは仍の口一御書と云ふ
蠟燭の挺と云ふは世有るに 殿中の御書

正月九

書忠

秋篠源正方納言
若人書 並に及

甲府總守御書

為年取の御後小袖二重御書御書

月

御判

中納言

御三女并侍婦の方へ御書

御三女并侍婦の方へ御書右同へ但筆おぼ
はる御書判ひるへ御書御へ

國主宰相へ御書

為瑞年へ御書後帷子に御書様思ふへ

月へ御判

金沢宰相へ

羽林へ御書

國主へ御書御へ御書右同へ

侍従へ御書

為年甫へ御書右へ一腰馬一丁御書思ふ
御書御へ御書御へ

月へ御書御へ

廣嶋侍従へ

徳重へ御書

為年陽へ御書小袖一重御書思ふ御へ
御書御へ御書御へ

月へ御書御へ

戸田宰相へ

車書之河

禁裏の車書

今度為 依天親王宮下之御役

禁裏 院中 依天親王宮下之御役

信入也沙月隊 沙進 御役之御役 御役之御役

正月九日

河部 左衛門
松平 伊豆守
酒井 利忠

清宗寺一任及

此より大納言及

院中

院中車書

東照宮額 仙洞玄深 宸翰彫出 朱符沙

虎下山列後 上覧の趣 御役不 大形の御役

有 奏進之旨 御役之旨 御役之旨 御役之旨

連 敵國をなす御役

四月廿四日

松平 伊豆守

小河 坊主 大納言及

園 大納言及

宮門御親王門御車書

為日光御門御親王門御車書

公方御車書 御役之御役 御役之御役 御役之御役

均之意いそ度所在府中少悉いふる聲意を
信く云々云々いふ使えり趣意 台より処より入
りて服取衣えり云々いふ由宜有傳きと傳
傳き

月日

家司殿

從常修院殿御書致知え
公方様並御機嫌能く成所元々之より日光
所法云々欠不扣保保守存思召い給え概井
所つる於此此此尾好 所對顔討此意
趣云云云いふ傳悦い名守均云々意い次大京守内
破換い御以右良美様云々云々云々云々云々云々

いふ服美様云々云々いふ云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

月日

山本云云云云

云親の云々云々の云々云々云々の云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

宮親王振清准門記

天台 日光山坐主 日光 東殿山兼主 輪王寺殿

天台 比叡山坐主 栗田 青蓮寺殿

大佛内

妙法院殿

同 梶井殿

右三門之内戒牒次第被補坐主

天台

円満院殿

同

照高院殿

聖護院隱居

同

岩倉

實相院殿

右三年宛輪補

真言義 護国寺長者 仁和寺殿 号御室御所

嵯峨

同

下醍醐

三宝院殿

同

嵯峨

大覺寺殿 東山孤依司

同

勸修寺村

勸修寺殿

右四門之内戒牒次第被補長者但近代鞍恩院役之歟

法相 真福寺寺務一乘院殿 南都

同

大乗院殿 同

蒼巖 東大寺長者 隨心院殿

小野

天台

本山派山伏司

聖護院殿

聖護院殿

号竹内殿

一乘寺村

天台

曼珠院殿

浄土

東山

知恩寺殿

天台

山科昆沙門院殿

同

常修院殿

梶井隱居

私云右と所門記と稱す但一方所入室付
三つ記と一室記と親王と中
中村家より入院し中村家門記清光夜系

一 村家門記手書

東七つを清光門記とす何し所住村の元
よりてとるなり

所書校勘見いさ度 將軍宣下と目出度
思召いぬ所校勘い使ふに似て通るなり
別を校勘と通るなり
三有傳とて通る

月日

南院法橋房

一 清光門記手書

予稱校勘見いさ度 將軍宣下手記校勘

目が度思ふ為に祝儀を以て使ふに過ぎず得
る意に違ひ披露に及ぶ所を以て披露に及ぶ
之に非ざる

月日

勅修寺殿

私に清室に披露に及ぶ所を以て披露に及ぶ
方より披露に及ぶ所を以て披露に及ぶ
披露に及ぶ所を以て披露に及ぶ

一、向うの書は是の准の如き

其書は清室に披露に及ぶ所を以て披露に及ぶ
思ふ所を以て披露に及ぶ

披露に及ぶ所を以て披露に及ぶ
披露に及ぶ所を以て披露に及ぶ

月日

安司殿

私に及ぶ所を以て披露に及ぶ

芳林に及ぶ所を以て披露に及ぶ
披露に及ぶ所を以て披露に及ぶ

月日

寺修寺

自心寺

佛光寺

蓮花院

准門記

私之右と推し論と号ス但為本歌すの代々家
門記号ス

私云、持家可くは、存書、以室、以不日光、以つて、
除き、以つて、以つて、以つて、以つて、以つて、以つて、

六 摸 家

近衛九條二條一條

清苑大石書 付七清苑稱號

私云：法華大旨，在書括家門，法也。括子同。

七折家

北法院
西園寺
德石寺
花山院

大坡馬
名家
出川馬菊亭

同大綱云云書

同
寧水冲少好年書

私云大納言ハ本朝没落其心也

花山院大納言殿中納言ハナヤマ相公サウキョウ啓
久我中納言殿キナガナ事コト少コト相サウ公キョウ啓
と月之下り

平公家 本納之 手書

同亭相中吹竹上書

私に按ずるに、公卿とて、
大抵は、元月、但文公の
子、公卿とて、

武家正書之次第

甲府銘豐御上尊書

沙家子名子書

讀書後

公方作是河檄始能成河石既思石名在
河石云然云之度一後月某石名越河
河石云石出之入少多然亦名之集
以由一有淺者云之深之

月日

敬司版

宰相少好讀書

此札搜入公集後自以中江之安樂寺
以之公之安樂寺教人今其後也此
之公之安樂寺

月
日

松平加賀守殿 宰相

松平藩主書
松平安房守書

倚流書

山伏全被見山伏候へ共知事より易に致し
紙面へ書上す之様

月日

松平七代書

山伏書

山伏全被見山伏候へ共知事より易に致し
紙面へ書上す之様

月日

松平越中書

山伏書

私云十萬石より山伏は同

十萬石より山伏書

山伏全被見山伏候へ共知事より易に致し
紙面へ書上す之様

月日

龜井能書

山伏全被見山伏候へ共知事より易に致し
紙面へ書上す之様

東風披見公既懷之各事一公安就上之
然而出入各事一公既懷之

月日

何事反

布衣一江漢人麻草書

書林之披見

私云右神前同一方所書

台川在夢中書

來此披見公使各事不足此

月日

長卿

台川

紙前

寺社方上書

知恩院

芳翰之書滿上之既純入此

就上之右也之既好子披席

月日

知恩院

增上寺

大觀寺

淨土宗且林系大寺紫衣僧書付并系且林

十八寺

身籠を披ふ人 久しからず

月日

傳通院

私云 紫衣より上は林。少くは紫衣
淨云 宗大寺 紫衣の僧より上

園東檀林十八寺

江戸是寺石

之縁山

廣文院

増上寺

光業寺

隠念十卷文

天照山

光明寺 同

江戸石川寺石

無量山

壽経寺

傳通院 同

上沢新田寺石

義重山

大光院 同

飯沼石

壽亀山

弘経寺 同

徳島寺石

通照山

勝願寺 同 氏業衣

岩屋寺石

道中寺

岩屋寺 同 氏業衣

浅草

中田山

幡陸寺 同

新初恵寺 同

下総結城守石

結城山

常呂川連石

草北山

下総小笠原守石

佛法山

同生堂守石

竜沼山

武蔵岩戸守石

佛眼山

上野鼓井守石

所南山

法經寺同

常海寺同

東漸寺同

大蔵寺

淨國寺

吾辱寺

武蔵澁山守石

觀地山

武蔵川越守石

孤峯山

常呂川守石

正定山

下総本所

大呂寺

蓮磐寺

大倉寺

靈山寺

天台寺

私に書ける格澤寺と林寺同但院敷

ハツ所の寺あり

日門の院敷

檀那院 觀心院
城南院 円徳院

聖護院之院家

東山 若王寺
洛月六角堂 勝仙院
佛持院

曼珠院之院家

法雲院 是京西切威院
靜慮院 是京尾崎切威院

仁和寺之院家

普持院 太光院
大華院 勝金院 普持院

沼田 常樂院

大山 阿都利山 八大坊 石山寺六石院

大寺寺之院家

武忍寺京 大勝院 平金動院

円福寺 學勝院

三寶院之院家

上醍醐 報恩院 水戸坊
和月内山 寺石上樂院 寺別王院

東寺居住

佛
象
院

一
彙院之院家

森尋院

修甫院

南北院

私云古邦之詩乃子院家也

台本真品正牙書

私云天台玄の傳匠の正書格降出宗檀林
は同く但院亦く傳匠と繁衣の檀林と

推し自解ハ黄衣の檀林子推し
の月舟大僧正を人ぞく
天台院

兩廡山石流甘書

私么是ふを書括あて同
第 三 品 鳳 車
和 呂 琴 武 家 本 の 底 流 水

東叡山底流

東嶽山學記
日門院

石 不 愛

雲院

仙波北院字以風之可名

日光山學記

廿一

樂院

沈家院世長

紀吳東坡五石齋圖

六石

如院

妙法院
院名光院

日 寺 等光院 寺樹院

日 百石 觀行院

日 百石 通明院 福安院

日 功德院 山松禪院

山門西塔碩字月 日 正銀院 觀理院

武呂山王列當 日 中光院 觀理院

伯呂大仙寺以槐井源泉院 日 泉院 且那院至安院

東嶽山東照寺 日 年松院 戒音院

羽呂羽東山列當 日 泉院 同學院

尾呂東照寺列當槐井院泉銀心院 日 常照院 月公院

東嶽山大嶽院列當 日 東漸院 之云月珠院

水戸東照寺列當 日 吉祥院 文照院改其山院

東嶽山室樹院列當 日 常德院

常品江戶寺不勒院列當 日 見明院

冬品鳳來寺字以 日 松寺院 常信寺

後品久能山字以 日 德音院 常信寺

小野逢善寺字以 日 白毫院

和只右野字以 日 渡國院

日 明王院

日 東象院

日 松林院

日 元光院

津梁院
 普門院
 學成院
 泉毫院
 青毫院
 空務院
 林廣院
 明淨院
 元玄慈眼院

右東廡山在江

野山五門首了書括片五門首

私云五門首了書括片五門首

五門首

學侶方

無量壽院
法性院

因換授職了書月換授職并碩學事

私云是也書括片五門首但換授職編番

之碩學了書月換授職了書月三年任職了

平僧了補了書月一年居職了

碩學八人

每量壽院
 定龜院
 稱勤院
 空性院
 正知院
 明王院
 普門院

得家山在書 系於溪谷
私云京都溪谷山此山妙心寺大德寺
發の万後寺在書括而之同

瑞龜山

八百六十石

南得寺

深紫衣

長龜山

八百石

天皇寶曆寺

深紫衣

万年山

五百六十石

相王兼天寺

東山

八百一十石

建仁寺

惠日山

八百六十石

東福寺

金山

八百六十石

万壽寺

溪谷 山

巨福山

八百六十石

建長興國寺

甚衣

瑞慶山

八百六十石

円覺興得寺

日

龜名山

八百六十石

金剛寺

日

金室山

八百六十石

淨智寺

日

稻荷山

八百六十石

淨妙寺

日

曹洞宗也わさる寺書

私云前山

也本寺

銭市

谷得山

永平得寺

常紫衣

能也 諸嶽山

也持得寺

日蓮宗熱心寺古書有抄

私云古書有同

甲子身延

所處山

武州地

長榮山

久遠寺

中門寺

時宗 熱心寺古書

私云古書有同

熱心寺

相呂夜氏

清淨光寺

社僧古書

私云古書有同但社僧古書

社僧古書一決

古川古

沙北古書古 古川

月日

古川二信度

私云古書有同

古河門古

私云古書有同但古河門古

古河門古

私云安後計也 亦由之被之

吉田家新系家伊勢系之由

出由之被之 亦由之

月日

吉田清澄反

新系在東院反

伊勢系之反

雲其大社之社藏與同派所也之社友也

未札之被之 不宣證之

月日

玉造 小清反

玉造 千反反

日由清 捨被反

勢田 大反反

麻清 大反反

泮 中勢反

源 清反反

私云右之内也其大社之社藏之古來
年書

武家嚴制源卷之四十九終
惣大尾

文政四年辛巳二月二十日寫竟

淺見忠和常規直節 古屋惟明

